



まちがど トピックス



■冬の夜を光で演出！歩道を華やかに彩るイルミネーション

11月26日、金剛中央公園で、「金剛きらめきイルミネーション2016」点灯式と「金剛バル★Winter Land」が実施されました。訪れた人たちは、子どもらが装飾したペットボトルツリーやキャンドルが飾られたクリスマスムードいっぱいの会場で、ゴスペルやダンスなどのステージ発表や食事を楽しんでいました。なお、金剛ショッピングモール（寺池台一丁目9の60）付近から金剛駅までの一部の歩道を彩るイルミネーションは、22日(日)までの午後5時～10時までの間、楽しめます。



■葉ボタンでお正月の装いに

11月22日、農業公園サバーファームに、29年の干支である「酉」の花絵が完成しました。

これは、公園内の花が少なくなる冬にも来園者に楽しんでもらおうと、毎年、公園職員がデザインから植栽まで全て手作りしているもの。

約1万5000株の白と紫の葉ボタンを使った縦30m、横19.2mの花絵の登場で、公園内はお正月の雰囲気にも包まれていました。なお、花絵は1月末ごろまでご覧いただけます。

■考えよう！私たちの住む街

11月24日、葛城中学校の3年生が、「私たちの住む街を活性化させよう！」発表会を実施しました。これは自分たちの暮らす街の現状を分析し、魅力や課題をみんなで話し合い、その結果を発表するというもので、校区を5つの地区に分け、それぞれの地区の良いところや気付いたことなどを発表しました。当日は、校区内に住む人なども参加し、住んでいる街のことについて真剣に考える時間となりました。



写真とともに見る11月～12月のできごと



■認知症を予防するために

11月19日、すばるホールで、第7回とんだばやし認知症市民フォーラムが開催されました。

同フォーラムでは、「認知症になっても安心して暮らし続けられるまちづくり」に先進的に取り組んでいる地域の紹介や市民団体などによる取り組みの発表がありました。また、認知症サポート医によるクイズを交えた認知症予防の講演などもあり、参加者はさまざまな視点から認知症について学んでいました。

■守くて新鮮なものが大集合！

11月23日、石川河川敷川西グラウンドで、市農業祭が開催されました。

野菜の価格が高騰していたこともあり、会場は安くて新鮮な野菜や果物を買求める多くの人でにぎわいました。

また、本市特産の「えび芋」をはじめ、野菜をふんだんに使って大鍋で煮込んだ「ふれあい大鍋」や「奇跡の復興米」を使ったおにぎりが来場者に振る舞われました。



■アクロバットな演技で魅了

12月3日、レインボーホール（市民会館）で、「～障がい者週間のつどい～第59回市民劇場」が開催されました。当日は、市民サークルによる発表会があり、さまざまなサークルの皆さんが日頃の練習の成果を披露しました。また、中国民族芸能鑑賞会では、積み上げられたイスの上で倒立をする芸などさまざまな中国雑技や京劇が披露され、アクロバットな演技の数々に会場からは大きな拍手と歓声が上がっていました。

■食べるのが、もったいない！

12月3日、中央公民館で、「お菓子の家をつくらう！」が開催されました。

参加した親子は、協力し合いながら、壁や屋根を組み立て、自分たちで型抜きして焼いたトミの木や人型のクッキーをデコレーションし、立派なお菓子の家を完成させました。

子どもたちは、「上手にできた」「楽しかった」「家に持って帰って飾りたい」など笑顔で話してくれました。

